

A Media Psychology Approach to the Processing of Violent Media

メディア心理学の発展と暴力的メディア研究

講演：アニー・ラング教授（米国インディアナ大学ブルーミントン校）

日時：2010年7月5日（月）15:30～17:00

場所：北海道大学人文社会科学総合教育棟 W409

アニー・ラング博士は、インディアナ大学テレコミュニケーション学科と認知科学プログラムの教授です。ウィスコンシン大学で博士号（マスコミュニケーション）を取得し、生理心理測定やその他の実験心理学の技法を用いたメディア研究の分野で現在第一人者として知られている研究者です。

「人々はどのようにメディアからの情報に影響を受けているのか？」

ラング教授は、この質問に答えるためには、全てのメディアとあらゆる種類のメッセージ（形式やジャンル、トピックなどを超えて）に適用できる理論が有効だと考え、LC4MPという理論を提唱しています。

今回はラング博士の初めての来日講演です。メディア心理学がどのように発展してきたかの話題を含め、近年懸念されている暴力的なメディアの研究についてもお話していただきます。

お楽しみに！

〈プログラム〉

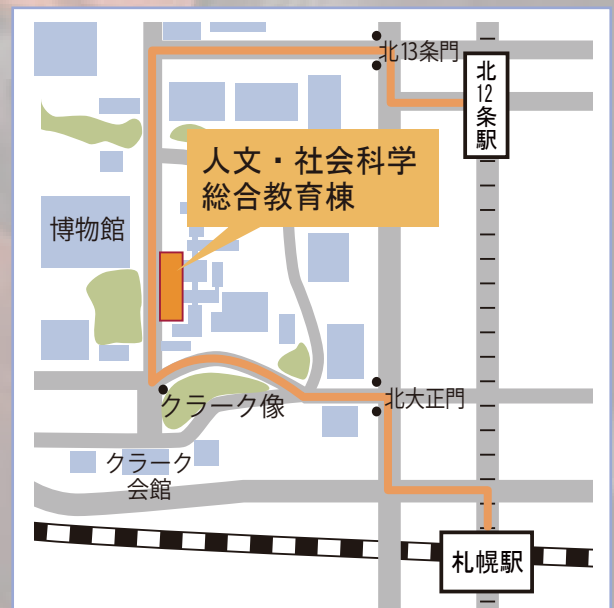
15:30～15:40 オープニング挨拶

講演者紹介（北海道大学文学部 仲真紀子教授）

15:40～16:40 ラング教授講演

（通訳：北海道大学学術研究員 栗田 聡子）

16:40～17:00 Q & A



参加費無料・予約不要

＜お問い合わせ＞

北海道大学大学院文学研究科 栗田 聡子

Tel: 011-706-2306

Email: satokokrt@gmail.com

主催

独立行政法人科学技術振興機構・社会技術研究開発センター

研究開発領域「犯罪からの子どもの安全」

「犯罪から子どもを守る司法面接法の開発と訓練」プロジェクト